

# 小野 心誠（おの しんじょう）



## Profile

『法雲山 大橋寺』 住職

高校を卒業し『西山浄土宗総本山光明寺』で2年の修行の後、祖父が住職を勤める大分市『大円寺』で8年勤め、途中から同寺の住職に。父親が『大橋寺』の住職となった時、住職の補佐をするため臼杵に戻り『大橋寺』の僧侶となる。平成27（2015）年より第32世住職。昔から広島カープのファン。臼杵市出身。

### ■大切にしていること

- ・お寺を開放
- ・生命のつながり

### ■学べること・できること

- ・お寺の案内

### ■見てほしい観光地や味わってほしい味覚

- ・臼杵の街並み
- ・魚料理

### ■私の“SDGs×#〇〇”

- #いのちに気付く

## 受け継ぐのは生命と思い つなげてゆくのは縁

僧侶の子として生まれた人の多くがそうであるように、小野心誠さんも"将来は自分も僧侶に"との思いを漠然と抱えて成長した。「やはり若い頃は葛藤もありましたよ。でも年が経つにつれて、僧侶としての父の姿に感じるものがあり、同じ道に進みたいと思いました」と、高校卒業時には自分の意志で僧侶になることを決意したという。

『大橋寺』の住職に就任したのは平成27年。以前に勤めていた寺でも住職の経験はあるが、1200軒もの檀家を持つ寺の住職となると、仕事量も段ちがい。できるだけ多くの人と向き合うことを心がけているが「それでも時間が足りなくて」と、申し訳なさそうに話す。大きな寺を継ぐことで一番、感じたことを尋ねると"生命のつながり"と即答した。「両親・祖父母・その先と、生命が脈々と続いて今の自分があるということを改めて感じました。その中で歴代の住職や檀家さんの思いにも触れ、多くの生命と向き合えるような気がします」。長い歴史の中でこの寺と縁をつないできた、多くの人の生命と思い。それらを丸ごと引き受けて、さらに多くの縁をつなげてゆく。それこそ心誠さんが心に刻む、住職としての姿だ。

令和5（2023）年5月、そんな心誠さんご夫婦に子どもさんが授かった。日々、生命のつながりと向き合ってきただけに、その喜びもひとしおのようだ。住職として父として。心誠さんのまなざしは、さらに優しく深くなってゆく。



川向かいからの優美な眺めで知られる寺。



西南の役の時に薩摩軍が撃った弾の跡が今も室内に残る。



御本尊の阿弥陀如来。寺は開放されており、誰でも気軽に立ち寄れる。

浄土宗西山禅林寺派 法雲山 大橋寺

〒875-0053 臼杵市大字福良平清水115

TEL0972-62-5963 ・ FAX 0972-62-596